



港区新橋 5-15-5
国鉄労働組合中央本部
☎ 03-5403-1640
発行人 宮崎浩則
編集責任者 瀧口良二
(組合員の購読料は
組合費の中に含む)

月間
9・12 国連総会でパレスチナ国家樹立による「二国間問題」に向けた国際会議が開かれ、8割強の国連加盟国がパレスチナを国家承認した。9・29 トランプ米政権が「ガザ紛争終結のための包括的20項目計画」を発表。10・1 電気ガス代補助金終了で、一斉値上げ、飲食料品3千品目も相次ぐ値上げ。10・4 自民党総裁選は各候補とも「政治とカネ」の問題を避けたまま、排外主義掲げる高市早苗氏を擁立。10・7 ガザ戦闘開始から2年、死者は6万7千人を超え、暴力の連鎖止まらず停戦合意履行は不透明。10・8 連合第19回定期大会で芳野友子会長が三選へ。10・10 石破首相が戦後80年所感を発表、戦争責任には触れず、記憶継承を重視。▽公明党が連立離脱を表明

脱原発と気候正義のためにともに声をあげよう

「さようなら原発」一千万署名市民の会主催の「ともに声をあげよう」脱原発と気候正義のために「さようなら原発9・23全国集会」が、9月23日に東京都渋谷区の代々木公園で開催され、労働者・市民4500人が参加した。

会場のブース「脱原発パザール」が11時に開店され賑わいを見せる中、ミニステージでは12時から「気候危機と原発」、13時から「台湾の脱原発報告」が開催された。

から半農半歌手のYaeさんによるオープニングライブが行われ、13時30分から落語家の古今亭菊千代さんの進行で集会が開始された。

主催者を代表して、呼びかけ人でライターの鎌田慧さん

と作家の落合恵子さんは、今も原子力緊急事態宣言が続く中で、原発の最大限活用と舵を切った政府を厳しく糾弾した。

の川崎彩子さんは、「気候正義とは気候変動の影響を可視化し、生きるために必要な当然の権利を主張すること。今もガザでは人が殺され続け、占領された土地には気候正義はない。原発に汚染され、奪われた土地に正義はない。差別の下に世界が造られていることに絶望を感じるが、世代を超えてこの世界を変えよう」と呼びかけた。

福島県出身で東京大学の高橋哲哉名誉教授は、「私たちの生きている世界は自然も人間もタガが外れている。イスラエルのネタニヤフの無法は常軌を逸し、それに組するアメリカのトランプは共犯者だ。原発には四つの犠牲がある。①過酷事故、②被爆労働、③ウラン鉱山での先住民、④放射能廃棄物」と訴えた。

その後パネルトークが行われ、No Youth No Japanの足立あゆみさん、Fridays For Future Tokyoの門脇颯生さん、原木いたけ生産者の飯原厚彦さん、反貧困ネットワークの加藤美和さんから、運動を始めた思いが熱く語られた。

各地の報告では、アジアで唯一原発ゼロを実現している台湾から、緑色公民行動連盟のツイ・スーシンさん、リン・ジョンイエンさんが参加し、「日本の脱原発運動に励まされている」と連帯を表明した。その後、福島原発原告団から中路良一さん、柏崎刈羽原発再稼働の是非を県民投票で決める会、大阪の反原発新聞の末田一秀編集長から運動の

の人々との関係を構築しなくてはならない。こうしたなか、今年2月8日に、平和フォーラムが中心となって「日本と朝鮮を結ぶ全国ネットワーク」(日朝全国ネット)が結成され、各地の日朝友好運動を一つに結集させ、①日朝国交正常化、②在日朝鮮人の権利確立、③東北アジアの平和と安定という三つの課題解決に向けて取り組むことが確認された。

戦後80年を迎える今年には日朝全国ネットにおいて、7月25日に東京都千代田区の連合会館で、「戦後80年、朝鮮戦争停戦72年国際シンポジウム」が、8月29日に連合会館で「関東大震災102年朝鮮人虐殺の真相究明を求める」そして9月27日に東京都千代田区の日本教育会館で「日朝ピョンヤン宣言から23年、日朝国交正常化を求めて」が取り組まれた。



さようなら原発9・23全国集会



デモ行進する国労組合員

国労女性部は、10月4～5日に宮城県の松島にて、第11回女性部中央委員会を開催した。7名の女性部員が出席し、それぞれ職場の問題や近況を報告した。中でも女性特有の悩みや問題が多く報告された。子育て中の女性が働き続けるに職場の実態や、辞めざるを得ないような勤務形態、身体的負担の大きい作業ダイヤ、技術継承や新人育成が不十分なため利用者へのサービスが低下している状況、パワハラの実態などが語られた。組合員が一人しかないない職場が増えている中でも、周りの働く仲間と声を聞いて相談に乗り、おかしいことはおかしいと声をあげること、職場での問題は組合と

相談して対応していくこと、女性部員同士でも悩みを相談し支え合っていくことを確認しあった。宮城県在住の女性部員から東日本大震災当時の体験談を聞き、震災による津波被害の甚大さや紙一重で生死を分けた状況を知った。2日目は、有志で石巻市の震災遺構を巡り、震災の実情と教訓を学んだ。

女性部長 谷澤由紀恵



第11回女性部中央委員会

戦後80年の節目に日本と朝鮮を結ぶ全国ネットワークが結成される

第二次世界大戦の終結から今年で80年、朝鮮半島では日本の植民地支配から解放されて80年の節目となる。日本の侵略戦争と植民地支配は、朝鮮半島の歴史を大きくゆがめ、朝鮮民族に多大な辛苦を強要した。私たちは、改めてアジアにおける日本の植民地支配の歴史を正しく検証しながら、平和な未来に向けて朝鮮半島

報告受け集会を終えた。夫婦漫才コンビのおしどりマコケンのクロージングライブが行われている中、パレードは原宿コースと渋谷コースの二手に分かれて出発した。国労は平和フォーラムの仲間と共に原宿コースに参加し、代々木公園から原宿駅前↓表参道↓外苑前駅までの2.3kmを歩きながら、沿道の人々に脱原発社会の実現を訴えた。

10月21日、第219回臨時国会が召集され、自民党の高市早苗総裁が衆参両院の本会議での首相指名選挙で第104代首相に選出された。女性での首相就任は初めてとなったが、公明党が「政治とカネ」問題での与党からの離脱を受け、自民党と日本維新の会による連立政権を築き足さした。しかし、組閣の顔ぶれを見ると裏金問題での議員が7名も起用されている。衆参両院で与党を過半数割れに追い込んだ国民の審判を踏まえれば、この臨時国会では物価高騰に苦慮している国民生活を守るため消費税減税や裏金問題での追及、企業・団体献金の禁止ではないか。連立政権の合意書では、医療費の4兆円削減など社会保障改善、憲法9条改悪、大軍拡の前倒し、衆議員の定数1割削減、スパイ防止法の制定など従来の自民党政治をさらに悪くする危険な内容となっている。特にスパイ防止法(案)は中曽根康弘政権下の1985年に自民党が提出し、外交・防衛にかかわる「国家機密」を外国に漏らした者に死刑など厳罰を科すものだったが、何が「国家機密」にあたるのか、何をもって「情報」を漏らしたとみなすのか、政府が恣意的に判断することが可能で、報道・調査や日常会話に至るまで監視対象となりえる「現代の治安維持法」ともいえるものであり、国民的な反対世論の高まりの中で廃案となっている。自民党やその補完勢力による極右・排外主義に対し、野党の暴走を許さない国民的闘いが求められている。(佐)

国労本部HP QRコード



10月21日、第219回臨時国会が召集され、自民党の高市早苗総裁が衆参両院の本会議での首相指名選挙で第104代首相に選出された。女性での首相就任は初めてとなったが、公明党が「政治とカネ」問題での与党からの離脱を受け、自民党と日本維新の会による連立政権を築き足さした。しかし、組閣の顔ぶれを見ると裏金問題での議員が7名も起用されている。衆参両院で与党を過半数割れに追い込んだ国民の審判を踏まえれば、この臨時国会では物価高騰に苦慮している国民生活を守るため消費税減税や裏金問題での追及、企業・団体献金の禁止ではないか。連立政権の合意書では、医療費の4兆円削減など社会保障改善、憲法9条改悪、大軍拡の前倒し、衆議員の定数1割削減、スパイ防止法の制定など従来の自民党政治をさらに悪くする危険な内容となっている。特にスパイ防止法(案)は中曽根康弘政権下の1985年に自民党が提出し、外交・防衛にかかわる「国家機密」を外国に漏らした者に死刑など厳罰を科すものだったが、何が「国家機密」にあたるのか、何をもって「情報」を漏らしたとみなすのか、政府が恣意的に判断することが可能で、報道・調査や日常会話に至るまで監視対象となりえる「現代の治安維持法」ともいえるものであり、国民的な反対世論の高まりの中で廃案となっている。自民党やその補完勢力による極右・排外主義に対し、野党の暴走を許さない国民的闘いが求められている。(佐)

第18回全国組織強化・拡大経験交流集会特別報告

2025年6月1日〜2日に神奈川県KKR江ノ島ニュー向洋で開催された、国第18回全国組織強化・拡大経験交流集会で、特別報告として近畿地方本部の西澤宗一郎組織部長が、「近畿地方本部における組織拡大に学ぶ」と題して報告を行った。国労の喫緊の課題である組織拡大の参考にもなつべく、今回全文掲載を行うことにした。

近畿地方本部における組織拡大に学ぶ

近畿地方本部 西澤宗一郎 組織部長



報告する
西澤組織部長

「みんなが良くならなければダメだ」という観点に感銘を受け国労加入を決意した

皆様お疲れ様です。近畿地方本部で組織部長をしている西澤です。いま、近畿地方本部では昨年8月の大会以降5名の拡大がありました。JR西日本2名、JR貨物2名、そしてジェイアール貨物西日本ロジスティクス1名です。組合員皆様方のご活躍により大変大きな組織拡大につながりました。

こういった組織拡大の背景もありまして『近畿地方本部における組織拡大に学ぶ』ということでは是非とも話をして欲しいと依頼がありました。近畿地方本部が行ってきた組織拡大にまつわるお話をしていきます。お役に立てれば幸いです。

今回、初めてお目にかかる方もいらっしゃると思います。まずは私の簡単な経歴を紹介します。

所属会社はJR貨物で職場

は大阪にある吹田機関区で運転士をしています。現在47歳になりました。入社は1997年(平成9年)です。始めに配属された職場は『梅田貨車区』で、主に貨車の交

番検査を行っていました。1年後には運転士の養成があり、東京の『中央研修センター』で教育を受けて、学科試験に合格し、吹田機関区で見習い運転士となり、実技試験に合格し1999年6月に運転士となり、今の職場『吹田機関区』で運転士をしています。

労働組合の経歴ですが、入社後の前期研修中に会場のホテルに來ていた日本貨物鉄道労働組合(貨物労組)に半ば無理矢理組合に加入させられました。初めて配属された梅田貨車区では貨物労組もいませんが、国労の先輩方も何人かいて、貨物労組以上に親切・丁寧な仕事などを教えていただいたり、レクに行ったり交流を深めました。その後、運転士になるために『吹田機関区』へ転勤し、運転士になった2年後の2001年8月に貨物労組を脱退して国労に入

り、国労に加入したきっかけですが、簡単に言うと、貨物労組の考え方に全く魅力が無いのです。彼らは『自分さえ良ければそれでいい』という考え方、それがどうにも納得いかなくて、この組合の考え方は私の考え方とは全然合わないとずっと感じていました。一方、国労の方と話をして

『職場オルグ』行動の目標を組織拡大にしていけない

さて、そんな重苦しい雰囲気『職場オルグ』というものを少しでも『やつてみよう』という気持ちにしたい。皆さんで出来そうな『やり方』を考えてみましょう。

皆さんは『職場オルグ』の目標を『国労加入』してもらうことを目標として意識していませんか？ 私は国労加入を目標として『職場オルグ』をやろうとすると、ものすごく行動自体のハードルを上げてしまっていると思うわけです。ここにまず気付いて欲しいです。

どういうことかと言うと、加入を目的として行動したら、組織拡大できなかった『職場オルグ』は『失敗した行動』というふうに考えたり、捉えたりしてしまいがちになってしまふのです。

勿論組織拡大することが望ましい結果であることには違

いと『みんなが良くならなければダメだ』という観点を話しているではないですか。これは国労に行くしかない

と決意し、貨物労組に『自分の組合の組合員さえ良ければ他はどうなっても良い、ということ』が私は納得できませんでした。

国労に加入した翌日からは無視される等の嫌がらせがしばらくの間続きましたし、昇職試験でも組合差別を感じました。しかし、国労に変わっ

たことに後悔は全くありません。主任試験に合格するまで

約20年もかかりましたが、諦めずに何度も試験に挑戦し、2019年に主任試験に合格しました。以上簡単ではありますが自己紹介でした。

『職場オルグ』行動の継続で長年にわたり組織拡大が続いている

それでは本題に入ります。本日は『組織拡大に学ぶ』

ということですが、一口に組織拡大と言っても、そこに至る道は様々です。無数の方法があると思います。

いろいろなやり方がある中で、常々お話している、私たちが近畿貨物協議会が実践している『職場オルグ』行動について話をしていきます。

なぜこの話をいつでもどこでもしているかと言うと、『職場オルグ』行動の取り組みを行ってからは組織拡大が長年にわたり、続いているという実績があるからです。とりわけ貨物職場で行っているオルグ行動は定期的に取り組みれていますので、貨物会社の組織拡大が多いという結果が出ています。

この結果に基づき、国労組合員による『職場オルグ』行動が全ての地域や、全ての職場で取り組むことができれば、間違いなく国労の組織が徐々に増えていくと私は確信しているから話続けているのです。ですから今回も『職場オルグ』のお話どうぞお付

き合います。

なぜこの話をいつでもどこでもしているかと言うと、『職場オルグ』行動の取り組みを行ってからは組織拡大が長年にわたり、続いているという実績があるからです。とりわけ貨物職場で行っているオルグ行動は定期的に取り組みれていますので、貨物会社の組織拡大が多いという結果が出ています。

き合います。

行動する前からできないと勝手に結論づけてはいけません

『職場オルグ』と聞くと『やり方がわからず不安だ』とか『できるか心配』と多くの方が大変悩まれていると思います。でも、悩んでいるということはどういうことかと言うと、どうやって行動したらよいのかなど、無意識のうちに考えてしまっている状態ということです。ですから悩むことは決して悪いことではありません。どんどん悩んで下さい。

一方、何も考えず、行動も起こさず『絶対無理』とか、『忙しくてやる暇がない』といった言い方になってしまう方もいます。

実際に他の職場に行くことは大変勉強になります。その職場の実態や問題点を実際に目で見て正確に知ることができるので、聞いて想像するとは雲泥の差です。百聞は一見にしかずということです。

年3回の『職場オルグ』を10年近くに亘って続けてきましたが、この取り組みは可能限り、ずっと続けていくことが非常に大事であると強く感じており、これからも楽しみを見つけながら続けていきたいです。もちろん多くの仲間の協力が不可欠となります。そして、行動は繰り返して経験することで着実に経験値が上がります。経験値を積むことでレベルが上がることを忘れないで下さい。

異様な集団にならないよう一番気をつけている

今までやってきた職場オルグ



2024年度新規加入者決意表明

グの実際と職場の実態を話していきます。

初めはとにかく何でもやってみようと、細かいことを何も考えずに堂々と職場に乗り込み、施設内でビラ撒きや対話、期末手当の取り組みで、ハガキや署名を書いてもらいました。

当然ながら現場で組合活動を行うと会社目をつけられます。管理者から『敷地の外でやるように』と注意を受け

たことは何度もあります。注意を受ければキチンと敷地の外に退却して、そこでビラ撒きをする。ちゃんとやることを聞く物わりの良い行動をしていました。

人数はだいたい3人か4人で、多すぎず、少なすぎずで、服装はスーツか制服で身なりを整えてやりました。一昔前は職場内を組合の旗を掲げた統一感の無い服装の組合員がわらわらとやってくるという、端から見たら異様な集団

置こうとなつてしまふのです。

実際にやってみて、『無理』『本当にダメ』と感じたら、その時こそが本当に『絶対無理』というものです。行動する前からできないと勝手に結論づけてはいけません。

現在、「TUNAG」アプリ登録中!

◎国労は、情報発信アプリ「TUNAG」(つなぐ)を情報発信の中心にすることを決め、組合員への登録を推進しています。

— 「TUNAG」(つなぐ)に登録さえすれば —

- ・スマートフォンやパソコンで、好きな時に見ることができます。
- ・国鉄新聞を見ることができます。
- ・全国の様々な活動が、このアプリ1つで見ることができます。
- ・各エリアや地方本部のニュースも見ることができます。
- ・お得なクーポン券を獲得することもできます。

これからは「TUNAG」アプリで、「紙」から「デジタル」へと移行し、「賃金アンケート」をはじめ活用の幅を広げていきます。

登録がまだ済んでいない方は、所属するエリア本部・地方本部に連絡して登録をお願いします。



職場で起こっている問題や要求を交渉で改善し相手の期待に応えてきた

日程の決め方ですが、職場の出退勤時刻と組合員の勤務状況を確認しておき、移動時間をしっかりと計画することです。

また、現場長申し入れも可能な限りやるので、平日であることが絶対条件で、現場長と会う約束もして、みんなで意見を出しながら行程を練り上げて行動計画を立ててきました。

職場では仕事の邪魔にならないようにこつそりと組合員や他労組に宣伝物を配りながら対話を行い、職場の不満や改善してほしいことなどを聞き出します。

また、勤務終了後の方を食事誘い、交流も積極的に図ってきました。ここでも職場で起こっている問題や要求があれば話を聞いて、『職場申し入れ』や『団体交渉』で改善に

向けて私たちが解決に向けて行動することを説明して、合わせて国労に加入して欲しいことも訴えてきました。

当然ながら全ての問題が解決する訳ではありませんが、交渉で改善して、少しでも相手の期待に応えることはやってきました。

設備の改善などは比較的多く解決してきましたし、一番問題に感じたことは法令で点検が義務づけられている消防設備が多く職場で定期点検されず長年放置されていることを発見したときでした。当然違反行為となりますので、会社に指摘して是正させましたが、またサボっているところが見受けられます。続けているからこそ分かることだと感じました。当然ですがJR貨物の職場です。会社はコンプライアンスがどうのこうのと言っていますが、実際はこんなものです。ぜひ皆さんも

身近にこういう事例がないか、是非とも確認してみてください。オルグを通じて他労組組合員からは「国労は行動力がある組合」「組合が違っても真剣に職場を良くしようと考えている」「どんな悩みでも相談に乗ってくれる」といった感想をいただくことができました。

私は職場の問題や、個人の悩みを解決し続けていけば、いずれは国労に理解を示してくれて、国労に加入する人が出てくるかも知れないし、そうなればいいなという気持ちを持ちながら、職場オルグを継続することの大切さを実感してきました。

私はJRと関連会社の全ての職場や全ての系統に最低でも1人は国労組合員がいて、

他の職場に行つて話を聞くだけでもやって欲しい

そのそろまとめに入りまして。私はJRと関連会社の全ての職場や全ての系統に最低でも1人は国労組合員がいて、

現場でしっかりと活動していることが望ましいと考えていますが、実情はそうなっていない。このまま時間が経てば、組合員が減少していくことは容易に想像ができます。

しかし、何もせずに組織が減少することを眺めていることが果たして良いのでしょうか？ 組織が滅亡してしまうのを待っているだけではないのでしょうか？

ここにいる国労の皆さんは国労が良いと思って自発的に組合に加入してきた方々です。組織を滅亡させないためにも少しでも取り組みを行つて欲しいです。とりわけ組織拡大の実績がある『職場オルグ』行動をやっていくことが大切だと考え、いろいろな場で「やりましょうよ」と訴え続けてきました。しかし、なかなか職場オルグをやるうといった雰囲気が出て

私たちが貨物会社はたまたま職場に入つて現場長申し入れなどができていますが、旅客会社ではできない職場もあるでしょう。だからといってやらないというのは短絡的で、初めにお話ししたように、他の職場に行つて話を聞くだけでもやって欲しいのです。

職場に入ることができなくても、職場に行つて明けの人と対話する機会を作ることとはできるでしょう。ちょっとした工夫で地道な行動を積み重ねてほしいのです。

国労の組合員は人数が少なくはなりましたが、全国に組合員がいます。どの職場でも働いていても孤立させない、一年に一回でも顔を合わせる、対話をする機会を作る。取り組みに参加してくれなくても連絡を欠かさずにする。そういった相手を思いやる体制が重要です。

国労がやっていることを他労組組合員はしっかりと見ています。組合員を大切にできない組合であれば国労に行つても大事にされないのではな

が、私たちの職場オルグを経験した管理者が全国に異動しています。その方々がいる職場にはオルグ行動ができると思います。是非とも貨物関係の方はそういった管理者がいる職場に足を運んでほしいです。管理者からしてみれば「国労はどこでも職場を回っているのだな」という風にしか見えないでしょう。こういったチャンスも逃して欲しくないです。

国労の組合員は人数が少なくはなりましたが、全国に組合員がいます。どの職場でも働いていても孤立させない、一年に一回でも顔を合わせる、対話をする機会を作る。取り組みに参加してくれなくても連絡を欠かさずにする。そういった相手を思いやる体制が重要です。

国労がやっていることを他労組組合員はしっかりと見ています。組合員を大切にできない組合であれば国労に行つても大事にされないのではな

重要視して下さい。結果は努力の積み重ねで実ります。簡単な事でよいのです。普段会えていない組合員や仲間を訪ねて職場の近況や問題点を聞く。人任せや一人に責任を押し付けず、必ずみんなで協力し、分担してひとりひとりの負担を軽減するという気持ちで行動してみること

場働いていても孤立させない、一年に一回でも顔を合わせる、対話をする機会を作る。取り組みに参加してくれなくても連絡を欠かさずにする。そういった相手を思いやる体制が重要です。

国労がやっていることを他労組組合員はしっかりと見ています。組合員を大切にできない組合であれば国労に行つても大事にされないのではな

国労の組合員は人数が少なくはなりましたが、全国に組合員がいます。どの職場でも働いていても孤立させない、一年に一回でも顔を合わせる、対話をする機会を作る。取り組みに参加してくれなくても連絡を欠かさずにする。そういった相手を思いやる体制が重要です。

国労がやっていることを他労組組合員はしっかりと見ています。組合員を大切にできない組合であれば国労に行つても大事にされないのではな

労働者も人間です。人間である以上、悩みのない人はいないでしょう。自分のことや家族のこと、仕事のこと、家庭のこと、日々皆さんは様々な悩みを持ちながら働いているはず。そういった悩みを相手から上手に聞き出して相談に乗ってください。

対話で大切なことは聞き上手になることです。話を途中でさえぎったりせず、とにかく最後まで聞く。相手には気が済むまで好きなだけ話をしてもらってください。その中で共感できることを探して、問題解決に向けた話をし、少しずつでも改善しようとしている姿勢を相手に伝えて下さい。

また、問題を解決するために日々の学習も大切です。組合活動だけが学習の場ではありません。色々なことに興味を持って自発的に学習をすることが最も大切です。趣味や得意分野を活かして欲しいと

持ちで行動することが大事です。地道に取り組みを行い、定例化していく中で他労組と繋がりを作る。そういった取り組みを追求して下さい。また、組合運動は職場が基礎です。職場で組合員が運動することを忘れないようにして下さい。

思います。他労組組合員は「組合とは相談するだけ無駄」「役員に話しても逆に怒られる」など、労組組合に対して良い印象を持っていません。ほとんどの方が組合を信用しておらず、ちよつとしたことでも相談しなくなっています。

私たちは国労組合員がどんな内容でも相手の悩みをしつかりと聞き、問題解決に向けた話や行動をする。そして「国労で一しょに頑張ろう」と伝える。努力が実る日が必ずいつかやってきます。そう願つて一心に頑張つてやり続けるしかありません。

どこかの労組組合員みたいに組合の強制加入をさせる訳にはいかないのですから。最大組合は新入社員を組合に加入させるのが仕事で、その後はほとんど拡大に向けた行動はしていませんよね？ 私たちが何度

どうしても職場オルグができてそうにないとか、分からないと言う方は、是非とも近畿貨物協議会のオルグに同行して下さい。

神奈川平和運動センターと三浦半島地区労センターが主催する「米空母母港化抗議―原子力空母ジョージ・ワシントンの配備撤回を求める10・3全国集会」が、10月3日に横須賀市ヴェルニ公園で開催され、70団体・1800人が参加した。集会後はデモ行進を行い、沿道の人々に横須賀の米空母母港化反対を訴えた。

1973年に始まった空母ミッドウェイの横須賀母港化から本年度52年、2008年に原子力空母が日本に配備されて17年が経過した。

現在、米海軍横須賀基地は、米本土以外の世界で唯一の「空母の母港」であるとともに、空母を中心とした最新鋭のBMD(弾道ミサイル防衛システム)の多層防衛能力は極めて高いといわれ、世界有数の巨大軍港・出撃基地となっている。

在日米海軍は昨年11月21日

横須賀の米空母母港化に反対する



全国集会への国労参加者

火災事故を引き起こしている。さらにジョージ・ワシントンの燃料交換と整備点検は2017年の夏から行われているが、核燃料の交換や整備点検を行う同空母は事実上建設現場にも等しい劣悪な状態にあり、度重なる整備の遅延や居住環境に適さないことを背景に乗組員の相次ぐ悲惨な

自殺が取り沙汰されている。現在、自衛隊横須賀基地では、事実上の空母である護衛艦「いずも」に戦闘機F35の離発着を可能にする改修が進められ、さらに対機雷戦の能力を向上させた「もがみ」型護衛艦が配備されるなど、『戦争する国づくり』に向けた軍備増強が着々と進行している。さらに集団的自衛権の行使に向け、NATOや日米の海上戦力と共同関係にある国々の艦船が頻繁に寄港するなど、出撃拠点としての横須賀の基地機能はいつそう強化されている。

私たちは、原子炉事故に対する住民の不安を置き去りにして継続される原子力空母の配備、そして横須賀基地の強化に抗議し続けなければならない。

積極的に意見を言い青年・女性部らしい楽しい活動を

青年・女性部の皆さんに私からお願いです。若い内にみんなで大いに交流する機会を作つて欲しいです。

私は23歳の時に国労に加入しました。当時の青年部はスキーや花見、学習会やローカル線視察など様々な取り組みがあり、大変楽しかった思い出が一杯です。

いまの青年部は組織自体も小さくなっており、レクレーションの取り組みがあまりできていないのが実情ではないでしょうか。青年部が楽しく元気に活動すれば組合の活性化につながります。積極的に意見を言い、青年・女性部らしい楽しい活動を是非とも

やっていたきたいです。楽しく活動している姿は外から見ても魅力的に映ります。国労に加入した皆さんはまだまだ多くの可能性を秘めています。是非とも自らの手で魅力ある国労を作つてほしいです。今日は『行動に失敗は無い』『目標は組織拡大することではなく、行動出来ない状態から行動すること』『どんどん行動して欲しい』ということをお話ししました。これを機に全国で職場オルグが取り組まれることを切に願っています。

行動の結果として組織拡大につながるよう力を合わせて頑張ろう

最後に効果的な方法をひとつだけ言わせていただきます。

国労が再び大きな組織に向かい、元気に楽しく盛り上がつて欲しいという思いを込めてお話をしました。私もまだまだ頑張りますので宜しくお願いします。ありがとうございました。

国労が再び大きな組織に向かい、元気に楽しく盛り上がつて欲しいという思いを込めてお話をしました。私もまだまだ頑張りますので宜しくお願いします。ありがとうございました。

鹿島鉄道（石岡～鉾田）廃線の
代替バス路線も廃止へ

関東鉄道は2025年10月1日、茨城県南部の路線バスについて、4路線合計47・7kmを廃止する届出を行ったと発表した。この中には、かつて鉄道の廃止代替バスとして設定された路線も含まれている。

2026年3月いっぱいまで運行を終了する路線は、(1)石岡・鉾田線13・5km、(2)石岡・土浦線9・6km、(3)鉾田・水戸線12・4km、(4)鉾田・水戸線12・2km。廃止停留所数は

82カ所におよび、うち49カ所が鉾田市内に所在。鉾田市の一般路線バスの多くから撤退することになった。

(1)の「かしてつバス」は、2007年に廃止された鹿島鉄道（石岡～鉾田）の代替バスで、鉄道の廃線跡の一部を活用した約7kmのバス専用道を経由した茨城空港連絡バスの役割も担っており、「茨城空港を拠点とした運行に再編」するという。

また、鉾田と水戸を結ぶ2路線も鉾田市内の区間のほとんどが廃止となる。なお、鉾田市内には東京駅直通の高速バス（東関東道経由）を関東鉄道が運行している。このほか、常磐線の土浦、神立（土浦市）、石岡（石岡市）の各駅を発着する系統も、自治体をまたぐ区間が廃止となり、それぞれの駅と近郊を結ぶものに再編される。

廃止の理由として関東鉄道は、利用者の減少とともに、運転手不足にともなう輸送力不足を挙げている。

ローカル線については、改正地域公共交通活性化法の施行により、芸備線の一部区間について「再構築協議会」が設置され検討が始まっている。また再構築協議会が設置されていない路線においても、JRと地域での議論が始まっている。

鉄道廃止として代替バスが候補に挙げられるが、関東鉄道のように代替バスも永遠に確保される保証はない。

鉄道路線維持のための公的資金制度の拡充や地域公共交通が持続的な安定経営が図ら

れるように、自治体・地域・利用者と連携した取り組みが求められている。また改正地域公共交通活性化再生法の附帯決議を生かす取り組みも必要である。

国労は、2026年度国交省予算概算要求ならびに税制改正要望等を踏まえ、鉄道輸送業務に携わる労働組合の立場から、JRを所管する国交省鉄道局との意見交換を行い、利用者と働く者の視点に立つた政策・制度要求実現に向けた要請行動を11月14日

3日目（10月5日）

「世界核被害者フォーラム」では被爆体験者の話などもあり学ぶ経験が出来て良かった。全体を通して、それぞれテーマを決めて学習し、その後グループワークを行ない、また次の講演となつていて学習の意味のあるやり方だと感じた。

憲法から引き続き関心を持つことがフィールドワークを行なうことで頭の中にも入りやすくなり実感でき、自分たちも学習の在り方を学べた部分があった。

「平和」と簡単に言うけれど、自分たちが戦場において「平和」とは何かを考えるのと今の状況とは違いますが、世界各国の人々の為に自分には何が出来るのか、何をしなくてはいけないのか、どう伝えるのか等を改めて感じた。

グループ内でもみんなが「行かされ感」であったが、「来てよかった」となった事は大きなことだと思った。是非他の方にも学んでいただきしっかりと運動に活かしていただきたいと思いました。



平和フォーラム・2025ピーススクール開催



フォーラム平和・人権・環境（平和フォーラム）では、中央加盟組織や都道府県運動組織を担う人材育成を目的に、研修を通じて平和運動や原水禁運動、人権・環境問題などの置かれている現状や課題を共有・議論し、将来の平和運動を担う次代の担い手や活動家を養成していく取り組みとして、『平和フォーラム・ピーススクール』が開催された。

2025年は、10月3日～5日の2泊3日で広島市西区の広島自治労会館で開催され、全国から44名が参加し、国労からは4名が参加した。最終日は全員でJMS広島アステールプラザにて開催された「世界核被害者フォーラム」に参加した。

次世代に、しっかり学んで運動に活かして欲しい

西日本エリア本部 大北 真也 書記長

1日目（10月3日）

講演①「憲法とは何か」

講師：河上暁弘氏

（広島市立大学教授）

結構キーワード的に考えが一致する内容が多く、興味をもてる学習会だと感じた。

「人材」：人間は「材料」「道具」「手段」ではないということ、

「社会」に役に立つ人間」というのが「人間に役に立つ社会をいかにつくるのか」という視点、

「ルールだから守れ」という考えさせない教育、「競争」の考え方、日本国憲法の重要性、世の中を変えるためには声をあげないといけない、私たちの力はとても小さい。しかし微力ではあるにせよ無力ではない」「果の転機を変えることはできないが明日の政治を変えることは出来る。」

とても一致するところが多く学べた。

講演②「核と人類は共存できない核なき社会をめざして、原水禁運動の歴史に学ぶ」

講師：金子哲夫氏

（原水禁国民会議共同議長）

被爆者健康手帳所持の数字が全国や在外も結構いること、広島で被爆して長崎でも被爆した二重被爆者がいること等、数字を具体的に出して学ぶことができた。

なかなか報道されていないこともあり、運動の歴史や世界大会での声なども学ぶことが出来た。

第五福竜丸の話は学習したところだったので復習のよう

にできた。

反原発から脱原発へ変わった運動の中身なども聞くことが出来た。過去にオバマ元大統領が広島へ来た際の発言で

「広島は核の爆発の地だ」ということが出来た。

講演③「南西諸島防衛強化と鹿児島県内の現状」

講師：磨島昭広氏

（鹿児島県護憲平和フォーラム事務局長）

馬毛島での訓練が多く取り上げられており、爆音なども聞いた。日米地位協定による米軍の権利を聞いて正直驚いた。犯罪なども多く、税金の使い道や沖縄の基地問題なども今まで以上に思いが強くなった。

講演④「安全保障・全国に拡がる軍備拡張」

講師：谷雅志氏

（平和フォーラム事務局長）

今も世界で起っている紛争に対しての話もあり、解決に向けてどうするかを話された。防衛費が年々増え続け学校関係予算の倍ほどあるということ、核を所持している国があるから自分たちも守るために



フィールドワーク

持つ、武器を買う等は全く次元の違う話で、外交によってしっかりと誰もがこの国もが武器を持たないことが重要であること、外交が出来ないならしっかりと出来る人に変えることなどが語られ、税金の使い道が間違っていることや選挙に行く重要性を再認識した。

外交がうまくいけば軍事費を高めなくても生活を経済を良くするために使えるので、しっかりと政治にも興味をもつて運動しないといけないと思った。

講演⑤「日本の人権状況と部落差別」

講師：中村修司氏

（部落解放同盟広島県連合会委員長）

部落の問題をメインで語られており、参議院選挙の結果についても取り上げていた。正直難しい話でした。グループワークで「身近な差別を感じるか」をテーマに議論し、転勤とかでも希望を聞いてもらえないということ、が他の人たちの職場でも多いことが言われた。組合差別があることに触れて話をすると参加者は驚いていた。JR西

日本は外見だけで「良い会社」と見ている人が多いことがわかった。利用者の立場から平等に利用できるようなしないといけないことを話した。

フィールドワーク（高校生平和大使らと共に碑めぐり、平和記念資料館見学）

フィールドワークでは、正直これまで見てきたところではあるが、説明してくれる高校生の熱量を感じた。

高校1年生の時に「親が平和の活動をしていたためま参加して自分も何かしたい」といけないと感じて、クラブ活動をやめて2年生から平和について学習した。平和大使になりたくて立候補したが駄目だった。来年こそはなりたい」と熱く語っていた。

広島が昔どんな地で、原爆を落とされてどう変わったかなども分からない高校生が、「次世代に向けて知らしていかないとけない」と運動している姿勢に驚いた。「署名も月1回行なっているがもっとやりたい」と目が輝いていた。しっかりとそれぞれの碑の事を勉強し、自分の言葉や感じている事などを説明してくれてよかった。

がん保険の枠を超え、一人ひとりに最適な安心を

保障と相談サポートで

あなたによりそう
がん保険
ミライト

No.1 アフラック
がん保険
契約件数
※各社の総合報告書などに基づくアフラック調べ(2024年3月時点)

「生きる」を創る。 **Affac** アフラック生命保険株式会社
法人第二営業部
〒163-0456 東京都西新宿2-1-1新宿三井ビル20階
Tel.03-6385-9829

〈募集代理店〉(アフラックは代理店制度を採用しています)
アベニール株式会社
〒105-0004 東京都港区新橋5-1-5 5交通ビル3階
Tel.03-3437-6810

保障と相談サポートで一人ひとりに最適ながん保険

**幅広い
保障**

がん治療だけでなく、がんの検診後の精密検査、診断前の通院、治療から治療後の生活サポートまで、幅広くがんに対する備えを提供します。

**アフラックの
よりそうがん相談
サポート** (*)

専門知識を持ったよりそうがん相談サポーターがあなたの不安や悩みを傾聴し、適切にサポートします。

(*)アフラックのよりそうがん相談サポートは、Hatch Healthcare株式会社が提供するサービスであり、アフラックの提供する保険またはサービスではありません。よりそうがん相談サポートおよび案内する各種サービスの内容は、2025年3月17日現在のものです。将来予告なく変更または中止される場合があります。サービスの詳細は、アフラックオフィシャルホームページ (<https://www.allac.co.jp/keiyaku/gansoudansupport.html>) をご確認ください。

※商品の詳細は「インプレット」「契約概要」などをご確認ください。